

私は中谷中学校吹奏楽部でオーボエを始めました。どうしてオーボエを選んだのか。すばり、色々あった楽器のなかで唯一音が出せなかった楽器だからです。オーボエを初めて目にし、どんな音が出るのかも知らないまま、どうにか攻略してみたいと思ったのです。

そんな理由なので、もしかしたら本当は向いていなかったのかも(?)。しかし「オーボエ」に出会って17年経った今、こうして仕事になっていいるのですから、継続は力なりです。

部の中でオーボエは一人でしたが、顧問の先生の計らいで、有難いことにプロのオーボエ奏者のレッスンを定期的に受けることができました。そのオーボエの先生には音楽の楽しさや厳しさを教えていただき、今の自分の基になっていると思います。今では私が指導に行く側になりましたが、果たして私は憧れていた先生

のようになれるているだろうか、とよく考えます。普段はレッスンに加え、オーケストラや室内楽など様々な演奏の機会がありますが、昨年、母校の阿古谷小学校で開催された創立140周年記念式典での演奏や在校生を対象にした音楽観賞会での演奏は、私にとって特別な時間でした。



▲阿古谷小学校創立140周年記念式典の様子

阿古谷小学校は今年度をもって廃校となります。一学年一クラスの山奥の小さな小学校。田畑の中を1時間かけての登下校。「阿古谷っ子」という言葉は今でも誇らしく感じます。母校がなくなってしまうのは寂しいことですが、そこで出来た友人たちは一生の宝物です。

大学から上京し、猪名川町を離れて12年。離れているからこそ感じる良さが沢山あります。猪名川町は、私の自慢のふるさとです。そんな自慢のふるさとを心に留め、これからも多くの人々に音楽を届けられるよう頑張っていきたいと思えます。



かわせ 川瀬 (旧姓 山城) あい 愛さん (30歳)
阿古谷小学校→中谷中学校→県立川西北陵高等学校→国立音楽大学→現在フリーのオーボエ奏者(演奏活動や後進の指導など)

そんな自慢のふるさとを心に留め、これからも多くの人々に音楽を届けられるよう頑張っていきたいと思えます。

～猪名川町観光ボランティアガイドのご案内～
私のオススメ★

今月の担当ガイド



おかもと のぶひろ 岡本 信司さん

どこのまちにも、古くから多くの人々を惹きつける「磁場」のような場所がある。猪名川町の場合、私は「屏風岩」だと思つた。町の中央を北から南へ流れる猪名川の清流に、高さ30m幅100mにおよぶ岩壁が、屏風のようにそそり立つみごとな景観だ。

今から2000年ほど前、江戸時代中期、屏風岩は、能勢電鉄沿線の「鼓が滝」や「多田院」「平野湯」とともに、当時の観光ガイドブック「撰津名所図会」に描かれている。しかも、屏風岩は、他の場所と違って、四枚連続のワイドな挿絵となっており、編集者らの感動の大きさが伝わってくる。また、湖々という人の歌が載っている。「春は花、秋はもみじと変わるの、屏風の岩の名画なりけり」。まさに、名画という形で詠われている。さらに、屏風岩だけは現代でも当時のままの地形が残り、今も猪名川町を代表する貴重な名所となっている。

同じ頃、猪名川町に微笑仏を残した90歳の木喰上人も、加勢大工の與清と、屏風岩の地を訪れている。また、俳人の大伴大江丸は、その一門と屏風岩周辺で舟遊びを楽しみ、大井屏風石之図を描いている。この屏風岩を見て、76歳の大江丸は、「若葉まで百年のちここに来む」と詠んでいる。

昔の人は、春先の山の青葉を見て、そこに、心身の再生、リフレッシュを願ったのである。そんな訳で、江戸時代、多くの人が新緑狩りにかけた。



▲大江丸の歌碑

なお、周辺には、カ土の石碑や烏帽子岩、庚申塔などもあって、観光ボランティアガイドでは、ガイドブックには載っていない話を交えて現地を案内しており、普段何気なく見ている風景にも、皆さんが、新たな発見や関心を持たれること請け合いです。

猪名川町の80%は山林です。猪名川町は、心と体の再生をするには、最高の場所です。ぜひ、皆さんリフレッシュに町内を散策してみたいかがでしょうか?!



▲「平成版撰津名所図会・猪名川町屏風岩編」(猪名川木喰会制作)



申込・問合せ：産業観光課 ☎ 766 - 8709

道の駅 いながわだより

今月のピックアップ野菜

わさび菜 (道の駅での入荷時期 10月下旬～5月頃) 九州の在来種であるからし菜の変異種で、わさびに似た爽やかでピリッとした辛味が特徴のアブラナ科の野菜です。厳しい寒さに耐えることで辛味が強くなるので、2月から3月初旬頃に最もわさび菜らしい風味が乗って美味しくなります。ビタミン類を豊富に含むちりめん状の柔らかな葉



3月の主な出荷野菜 ほうれん草・ねぎ・小松菜・水菜・キャベツ・わさび菜・わけぎ・春菊・大根・プチヴェール・菜の花 など

「お知らせ」
「やよいまつり」開催!
▷とき 3月3日(日) 午前10時～午後3時
▷内容 そば雑炊のふるまい(午前11時～)
◆問合せ：道の駅いながわ ☎ 767 - 8600



▲汽車の形がとても難しく何度か描き直しをしました。中川 愛心さん(年長)



▲シャワーがためたくてきもちいよ。國政 博文さん(年少)



▶おもほりで、たくさんほれてうれしかったえをかいたよ。矢内 ひろりさん(年長)



▶パラバルーンのメリーゴランドをがんばったよ。伊藤 優さん(年少)

子ども作品コーナー